

平成27年度国家公務員災害補償統計の概要

1 災害の認定状況

平成27年度に公務災害又は通勤災害と認定（上認定）された件数は1,934件で、前年度（3,228件）と比べ40.1%減少した。

(1) 公務災害の認定状況

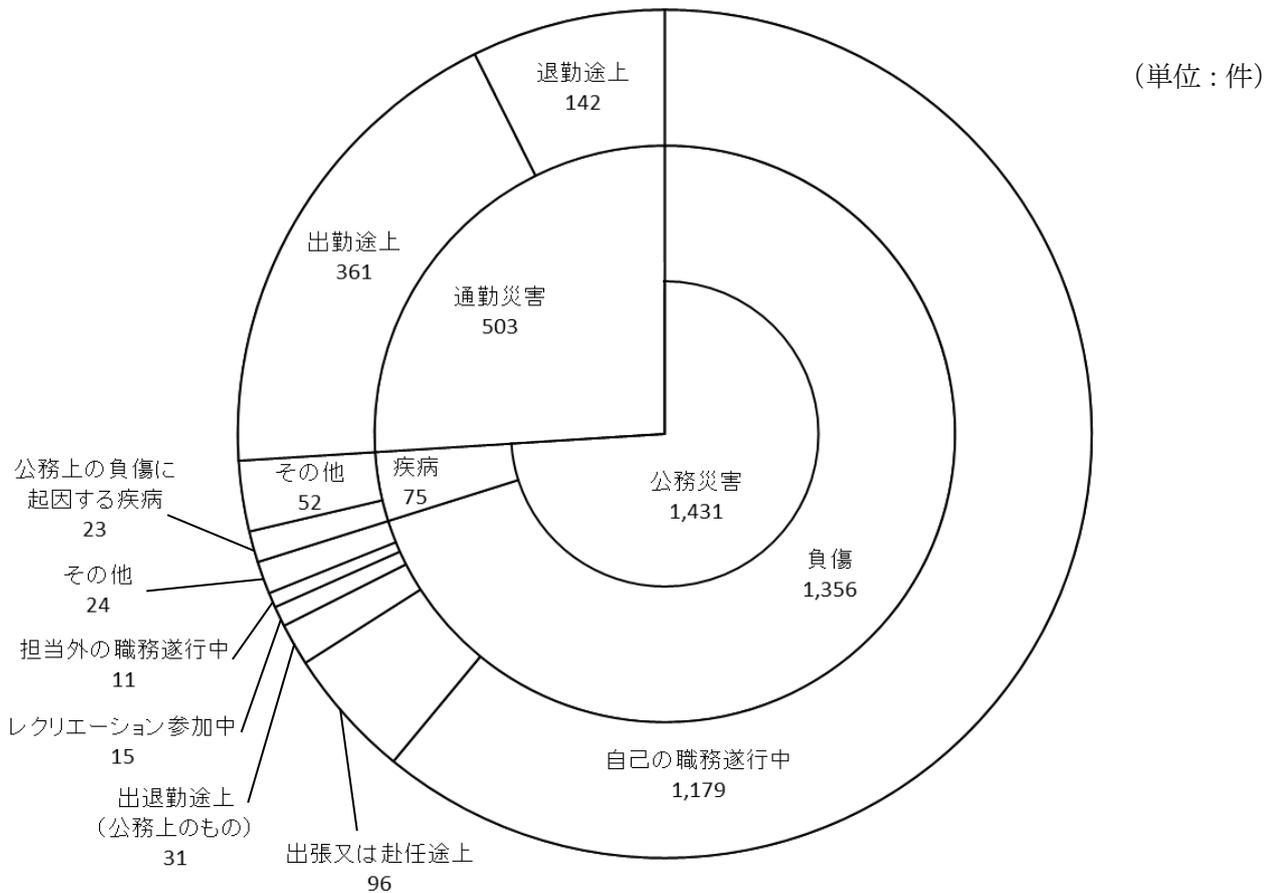
平成27年度に公務災害と認定された件数は1,431件で、前年度（2,476件）と比べ42.2%減少した。

これを事由別に見ると、負傷が1,356件（対前年度973件減）で、公務災害の94.8%を占める。負傷のうち、86.9%が自己の職務遂行中に発生している。また、疾病は75件（同72件減）となっている。

(2) 通勤災害の認定状況

平成27年度に通勤災害と認定された件数は503件で、前年度（752件）と比べ33.1%減少している。このうち、71.8%が出勤途上で起こっている。

公務災害及び通勤災害の認定状況



2 補償及び福祉事業の実施状況

平成27年度における補償及び福祉事業の実施件数は8,707件、実施金額は72億2,868万円で、前年度(10,757件、80億1,739万円)に比べ、件数では19.1%減少、金額では9.8%減少している。

(1) 補償の実施状況

補償全体の実施件数は5,494件(対前年度比24.4%減)、実施金額は58億9,182万円(同8.4%減)となっている。

補償全体に占める件数の割合については療養補償(47.1%)、遺族補償年金(25.8%)、休業補償(14.7%)の順に高く、金額では遺族補償年金(54.2%)、障害補償年金(19.4%)、療養補償(17.1%)の順に高くなっている。

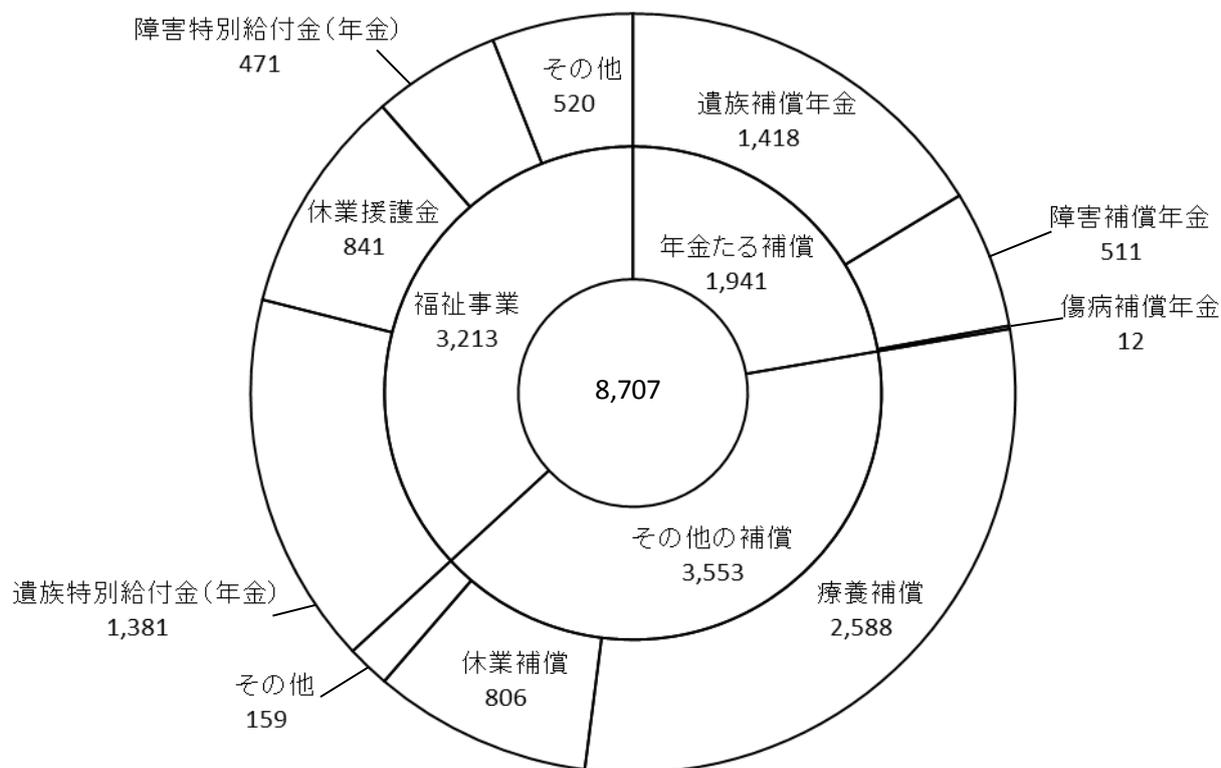
(2) 福祉事業の実施状況

福祉事業全体の実施件数は3,213件(対前年度比7.9%減)、実施金額は13億3,686万円(同15.7%減)となっている。

福祉事業全体に占める件数の割合については遺族特別給付金の年金(43.0%)、休業援護金(26.2%)の順に高く、金額では遺族特別給付金の年金(46.6%)、障害特別給付金の年金(15.6%)の順に高くなっている。

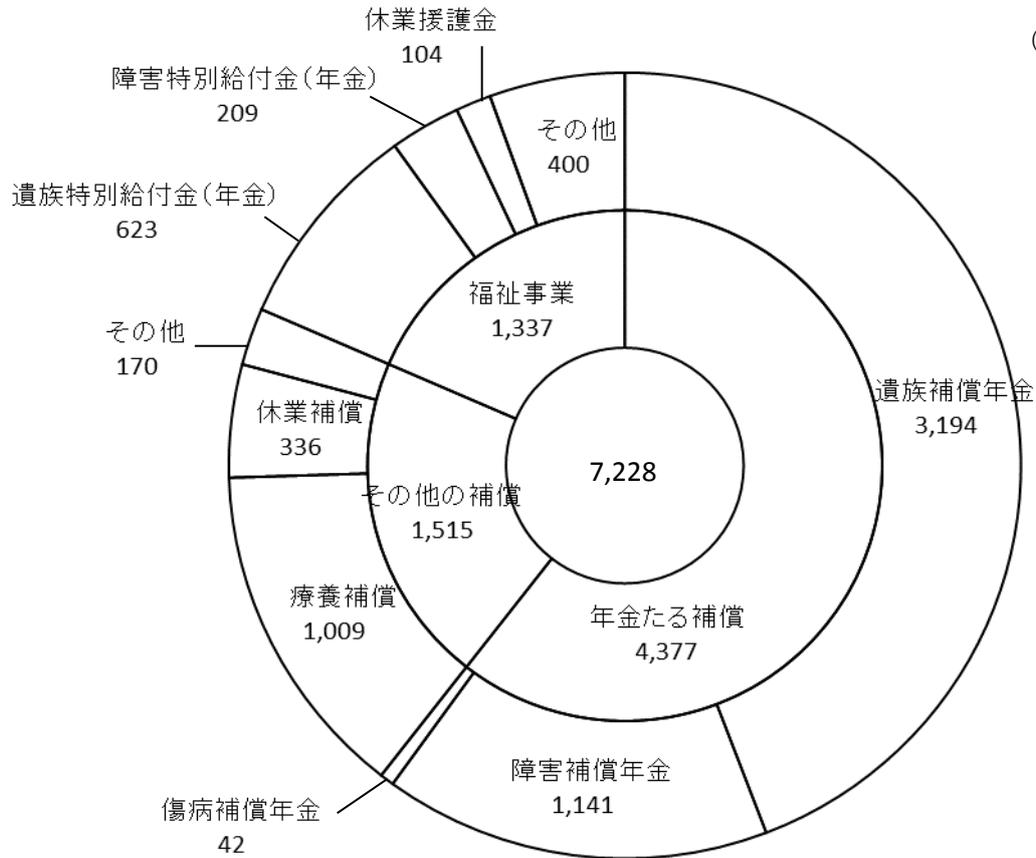
補償及び福祉事業の種類別実施件数

(単位：件)



補償及び福祉事業の種類別実施金額

(単位: 百万円)



グラフ中の各項目の金額で万円単位又は千円単位としているものは、端数を四捨五入しているため、それぞれの合計又は小計の欄の数字と合わないことがある。